

バリアフリー教室・移動等円滑化 評価会議沖縄分科会の開催

バリアフリー教室の開催

バリアフリー教室とは？

沖縄総合事務局では、高齢者や障害のある方が社会で安心して公共交通機関等を利用し、自立した社会生活を送ることができる環境づくりの「環」として駅や車両といったハード面の整備を促進するとともに、国民一人ひとりがバリアフリーへの理解を深め、快く手助けをできる「こころのバリアフリー」の実現を目指した施策を行っています。

運輸部では、高齢者や障害のある方の疑似体験・介助体験をとおして、障害のある方に対する偏見や差別、無関心など意識上のバリアをなくし、「こころのバリアフリー」への理解を深めていただくため、毎年「バリアフリー教室」を開催しております。

浦添市立浦城小学校でのバリアフリー教室

令和7年9月11日、浦添市立浦城小学校の児童57名を対象にバリアフリー教室を開催しました。座学講師のNPO法人バリアフリーネットワーク会議代表 親川修さんと視覚障害者 桐原好恵さんは「町でおじいちゃんおばあちゃんや、障害のある方が困っている場合は、自然と声をかけ、手を差し伸べることができるようになることが大事」と児童に教えました。体験学習では、車いす体験・視覚障害者体験・高齢者体験・フルフラ

トバス見学・盲導犬「グリ」との触れあい体験を実施しました。バリアフリー教室を終えて、児童から「何を困っているか聞いてあげる」、「歩きにくい人がいたら手伝ってあげる」、「困っている人がいたら大人の人を呼んでくる」などの意見があがりました。



フルフラットバス見学の様子



高齢者体験の様子



座学の様子



座学の様子（盲導犬グリ）

北谷町立浜川小学校での
バリアフリー教室

令和7年10月21日、北谷町立浜川小学校の4年生115名を対象にバリアフリー教室を開催しました。(福)北谷町社会福祉協議会と(福)高洋会の協力のもと、



車いす体験の様子



座学の様子



車いす体験の様子



車いす体験の様子

車いす体験・視覚障害者体験・高齢者体験を実施しました。バリアフリー教室を終えて4年生一同から福祉体験新聞を作成し「福祉を勉強できたり、いままで知らなかったことなどを勉強できてとてもいい体験だった」、「身の回りに障害者やお年寄りがいる場合はすぐに助けを求められるように工夫したい」、「学んだことを今後の生活に活かしていきたいと思う」とご連絡いただきました。

福祉体験について

福祉体験新聞

10月21日

感想

これら自分で行ったこと、高年齢者、車椅子、アイマスクの白じょう体験をさせてくれた、ありがとうございました。

これから自分で行ったこと、高年齢者、車椅子、アイマスクの白じょう体験をして、高年齢者や車椅子の人たち、大変だと分かりました。

これら自分で行ったこと、高年齢者、車椅子、アイマスクの白じょう体験をさせてくれた、ありがとうございました。

福祉体験新聞

福祉体験新聞

福祉とは、

福祉体験新聞

高年齢者体験

福祉体験新聞

福祉体験新聞

福祉体験新聞

福祉体験新聞

バリアフリー推進について

バリアフリー教室開催とおして、児童たちのこころのバリアフリー醸成に寄与できたと実感できました。これからも当局ではこころのバリアフリーを推進するためバリアフリー教室を開催していきます。

移動等円滑化評価会議
沖縄分科会の開催

令和7年9月11日、当局にて「第7回移動等円滑化評価会議沖縄分科会」を開催しました。会議には関係行政機関、高齢者、障害者等、地方公共団体その他関係者が出席し、沖縄県の移動等円滑化の進展状況について把握・評価を行いました。出席者からは、ゆいレールのホームと車両の段差・隙間解消、那覇市久茂地の美栄橋公園の当事者意見を反映したバリアフリー整備、首里城公園の聴覚障害者に対する案内等についてご意見があげられました。今後も関係者間で評価や意見交換をすることで必要な取組の検討を行い、沖縄県の移動等円滑化を推進していきます。



移動等円滑化評価会議沖縄分科会の様子

▶会議の詳細はこちら



お問合せ先
運輸部 企画室
098-866-1812